

# 大切なのは安全最優先！

先日、仕業庫内での作業者が、地上信号機が進行現示を示していたのに気づかず、車両の前を横断してしまうという事象が発生しました。

幸い、触車等の大事に至らなくて、本当によかったです。

会社は常日頃から「KYT」や「安全の心得」、「点呼時の助役の話」を行っていますが、肝心なことは、社員の作業中の意識がどうなっているかだと思います。

仕業検査では手順書通りの喚呼、点検を行い、タブレットの確認など多忙にあります。

しかも検査時間は今まで5分単位だったところ、今は1分単位で行われ、記録されています。

これは社員に「1分でも早く終わりなさい」という強迫観念を感じさせることとなります。

また、車両の入出庫で渡るのに1編成3～5分程度待つことになり、2～3編成待つこともあります。こういう要因が背景にあると思います。

会社は社員に対しての注意指導や監視カメラの増設、看板の設置だけの対策ではなく、踏切を付けるだとか、詰所を16号車に移動させるとか、根本的な対策が必要です。

また、「慌てさせない」「焦らさせない」「急がせない」ように作業内容、作業時間、作業要員を構築することが重要です。

社員も改めて「慌てない」「焦らない」「急がない」を心掛け、みんなで安全な作業を心掛けましょう！

**慌てない！ 焦らない!! 急かさない!!!**

2020年5月19日

JR東海労大阪車両所分会